

校長室は、子どもの教室からも職員室からも離れている。なので、とても静かだ。時々1年生の元気な声が聞こえてくるぐらい。今は、その元気な声が聞こえてくる▼その1年生、前の時間は、音楽室で鍵盤ハーモニカの練習に取り組んでいた。音が鳴るのが、楽しすぎて、なかなか先生の指示が聞こえない。先生は、そんな子どもを笑顔で待つ。先生が待っていることに気がついた子どもが一人また一人と静かになっていく▼聞く姿勢になった子は、ハンドサインでグーをあげるようだ。半分ぐらいの子のハンドサインが上がるころには、全体が落ち着く。こんな光景を、2回3回と繰り返しながら、「ドレミ」「レミファ」「ミファソ」が吹けるようになった▼4年生の教室では、「東員点訳友の会」の方にお世話になって、点字の出前授業。決められたルールを教えてもらいながら、専用の道具を使って、「あいうえお」「かきくけこ」・・・と点字で表していった。最後は自分の名前が点字で打てるようになる▼3年生の教室では、ローマ字の学習。小文字の「k」を教えてもらっていた。3年生もやがて、自分の名前をローマ字で書けるようになるのだろう▼今日はたまたま学びの入り口的な学習に巡り合えた。子どもたちは、日々「未完の完結」を繰り返す。小学校は、約6,000コマの教育課程がある。その日々の過程に学びに挑戦する子どもの姿がある。